

## 回答に関してのご連絡状

平成 23 年 10 月 3 日

〒136-8908  
東京都江東区新砂1丁目2番10号  
株式会社 明治  
代表取締役社長 浅野茂太郎 殿

町田市議会議員  
吉田つとむ

連絡先 (自宅、連絡先)  
〒194-0011 東京都町田市成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
電話 042-795-7361 FAX 042-795-2726

前略 先般の私の質問に関して、貴社からいただいた回答内容等につき、以下のとおり再質問させていただきます。なお、今回は当該質問に対して正対した回答が無い場合は、各質問内に記載させていただいた付言の解釈で、貴社の真意があると私は取り、且つその内容で貴社の姿勢があることを前提に公的な会議の場や報道機関等に見解を述べますので、それに伴う不利益は貴社が無条件で甘受しなければならないことにご留意ください。

よって、各質問に対しては、以上のような前提と町田市の児童に対して学校給食用牛乳を供給する企業としての社会的責任を踏まえ、真摯に回答ください。なお、本書状の内容及び貴社からの回答内容については、町田市民からの関心も高いものがあると考えられますので、私のブログに全文掲載し、公開させていただきますので、念のため付言させていただきます。

### <再度のお尋ね事項>

- (1) 貴社は、食品の暫定基準値が絶対的に安全なものであり、今後もわが国において引き下がることは絶対にならないということを保証できるか？イエスかノーかでお答えいただきたい。仮にこの質問に正対した回答をいただけない場合は、貴社は、前回答書における「安全性は十分確保」という文言については、貴社自体が真意として、信頼できるものではないとの見解にありながらなしたものであると捉えざるを得ないものであるので、この点をよく留意いただいた回答いただきたい。
- (2) 貴社では学校給食用牛乳についてのみでも、放射性物質ゼロベクレルを

保証する牛乳を作ることはできないのか。仮にコストがあがるとすれば、1本当たりどの程度の購入金額になれば、町田市でそれは可能か？

仮にこの質問に正対した回答をいただけない場合は、貴社には、放射性物質ゼロベクレルを保証する牛乳を作る意欲は全くなく且つその理由は、企業としてコスト至上主義のもと煩瑣な対応を避ける意図からであると判断することになるので、この点を留意して回答いただきたい。

- (3) 私への回答書は、責任者の名前がなく、発信人は組織名・部署名のみのものであったが、この回答は、貴殿（浅野茂太郎氏）が回答したと私が捉えることに異議はないか？

仮に貴殿が回答したとするならば、何故個々の質問にほとんど回答していないこのような回答を企業倫理のうえからも出せるのか回答いただきたい。

仮にこの質問に正対した回答をいただけない場合は、(株)明治では責任の所在を不明確化するため、あえて答えにくい質問は組織名・部署名で回答すると捉えることになるし、また(株)明治では答えにくい質問は正対した回答を避けるという考えがあるとの解釈を私は行うことになるので、この点をご留意のうえ回答いただきたい。

- (4) 貴社の町田市納品の学校給食用牛乳において今後1キログラム当たり6ベクレルのセシウム検出値が増えることはないということを保証できないか？

仮にこの質問に正対した回答をいただけない場合は、貴社の牛乳は暫定基準値ぎりぎりの製品にもなり得る製品であると捉えることになるので、この点をご留意のうえ回答をいただきたい。

- (5) 貴社内で測定している放射性物質の値を公開しない理由は何か？仮にこの質問に正対した回答をいただけない場合は、(4)同様、貴社の牛乳は暫定基準値ぎりぎりの製品にもなり得る製品である（その可能性がある）ので、数値を公開しない）と捉えることになるので、この点をご留意のうえ回答をいただきたい。

以上